



手もみ茶体験のようす

 **いるま**
市議会
だより

No.130

平成17年2月
定例会号
2005年5月1日発行

2月定例会

平成17年度予算を原案可決.....2P

9名が一般質問8P

改選後の初議会、議員紹介13P

市民の声、ミニ情報16P



古紙配合率100%再生紙を
使用しています



環境にやさしい大豆油
インキを使用しています

第1回定例会

Topics

2005.2

平成17年度 一般会計予算 333億8,000万円

平成17年第1回定例会は、2月2日から2月22日までの21日間開催され、提出議案61件について審議されました。

内容としては、議員提出による条例1件、規則1件、決議1件外1件と、市長提出による人事案件2件、規約8件、条例13件、一般議案13件、平成16年度補正予算11件、平成17年度当初予算10件であり、すべての議案が原案のとおり可決されました。

予算

平成17年度の一般会計予算は、平成16年度当初予算額に比べ、49億6,300万円、率で12.9%の大幅な減額となったが、以下の主旨の提案理由が市長から説明された。

昨年度は平成7・8年度発行の減税補てん債借換債32億2,990万円があるので、実質的対比では4.9%の減額である。歳入では、市税収入は、法人市民税が増額となるなど総額では2.4%の増額計上となった。また、国県支出金は、地方交付税とともに減額となっている。しかし、財政調整基金は激減している状況のため繰り入れは少額にとどめると共に、適債事業の活用により、不足財源の調整を図った。歳出では、市民福祉の向上を基本理念とし、事業の優先度、緊急度、効率性等を考慮し計上した。特に、経常的経費は、委託料、旅費等の経費削減、人件費の調整手当等について更なる削減を図った。

一般会計

▼ 討 論 ▲

反対討論

(日本共産党
人間市会議員団)

二〇〇五年政府予算案は定率減税の半減・廃止や消費税増税など7兆円の負担増路線に一步踏み出した。人間市政は三位一体改革による自治体への締め付けに対して、これを市民に転嫁して、負担増やサービス削減の方向を打ち出し、新年度予算はこの流れに沿っている。合併が破綻したことを理由に、市民に負担を押しつけるなどあつてはならない。

日本共産党は予算全体に反対するものではない。乳幼児医療費制度の就学前までの年齢拡大や小中学校の耐震診断など市民要望の実現もある。

反対項目は市長交際費。財政の厳しさを理由に市民の暮らし福祉を削減させながら部長会や課長会など庁内の任意団体への支出が改善されていない。就学援助制度の人間市独自基準は他市の住民と比べて不当な制限を加えている。直ちに撤廃すべき。

実際に戦争参加の軍隊となった自衛官募集事務、住民基本台帳ネットワークシステム予算など9項目。

賛成討論

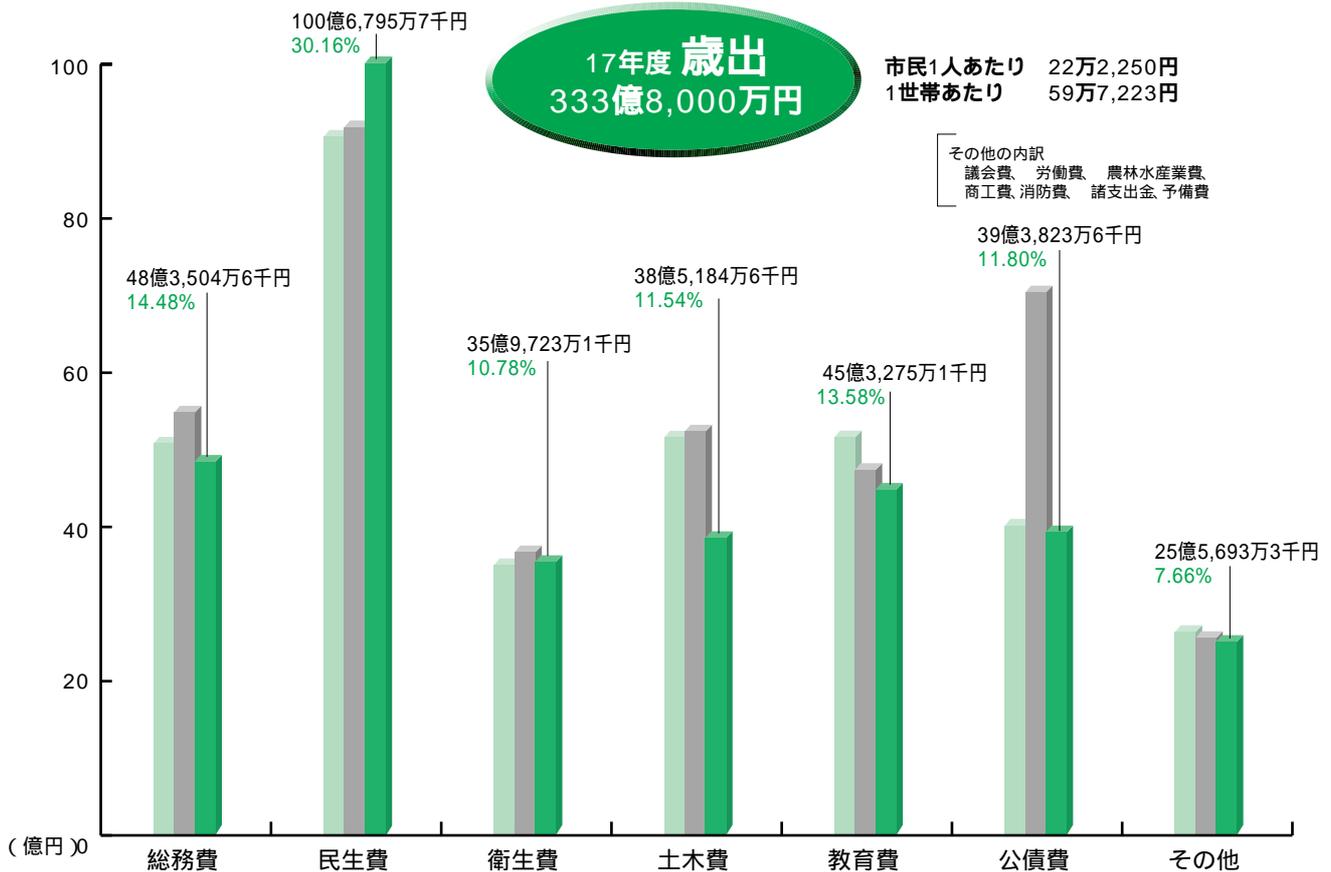
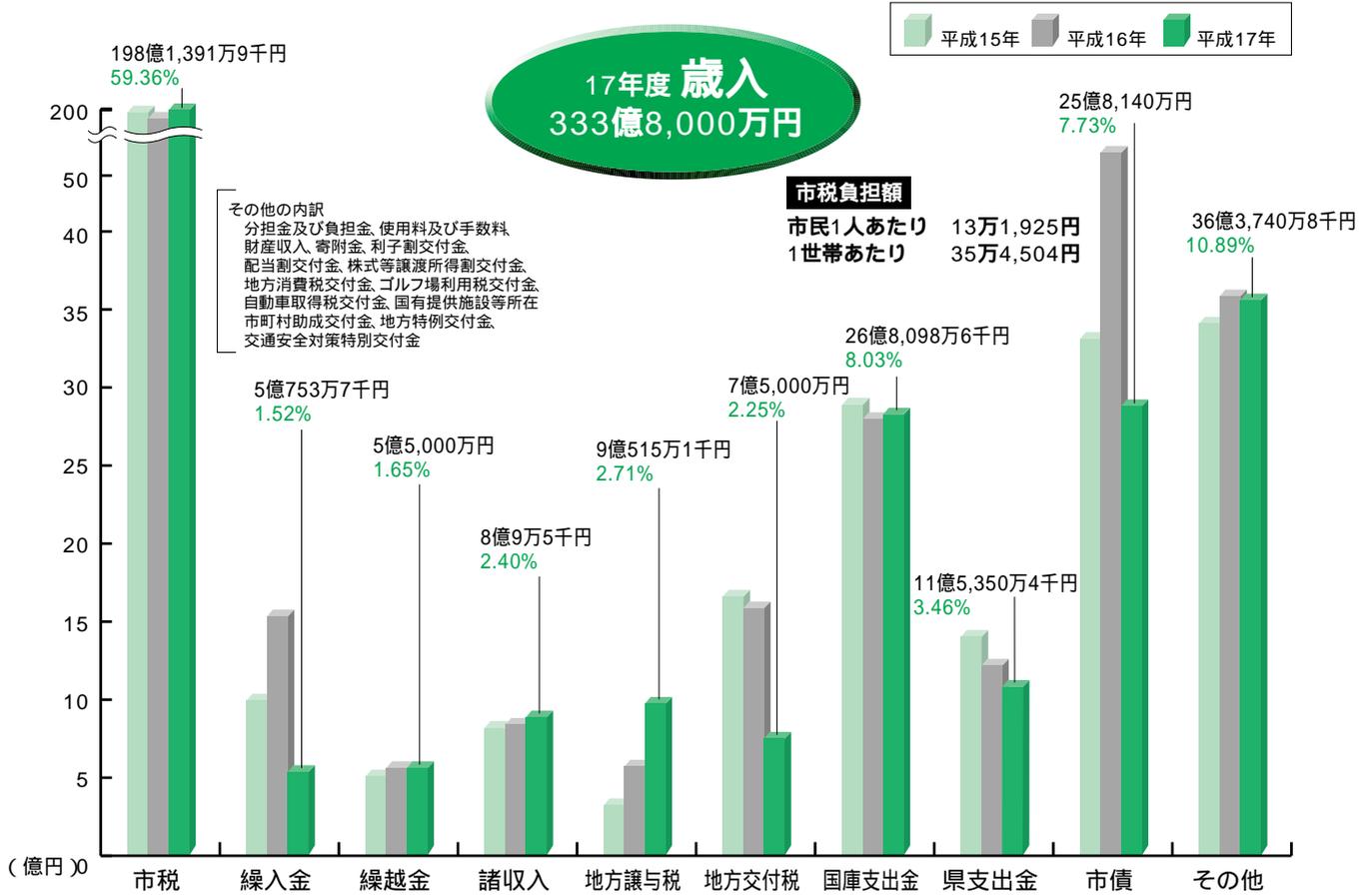
(保守系クラブ)

三位一体の改革等により非常に厳しい財政状況で、前年度当初予算に比較して実質4.9%の減額となり、地方財政の厳しさが伝わる内容である。

歳入では、固定資産税の土地分や市たばこ税等で減額となり、また地方交付税や地方消費税交付金も減額となっている。経済状況の不安定感もあり、予算編成において大変苦慮されたことと認識する。歳出では、都市計画道路・市道整備や武蔵藤沢駅橋上化の促進、中心市街地活性化事業の支援、不登校児童・生徒の学校復帰のための「ひばり教室」の充実、民間交番の設置の推進、加治丘陵の公有地化・保全管理、高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉施策の積極的な取り組み等、財源不足に陥る中で新たな課題にも配慮した予算に敬意を表したい。今後更により厳しい財政運営が予測されるが、魅力ある地域・「元氣な人間」のまちづくりを目指すし、効率的な予算執行が図られるよう念願し賛成の討論とする。



一般会計予算 自主財源 229億5,295万9千円 依存財源 104億2,704万1千円



反対討論（そらまめ）

市は三位一体改革に直撃されている財政状況を合併により切り拓こうとしてきた。当然市政運営の基本をなし、市民主体の自治の実現をめざす基本条例の制定や、高齢社会の到来を予測した財政環境に対応する地方自立計画の検討には入らなかった。

単独市として進む住民意思が示されたからには政策を選択し、施策の方向として自治の基本と自立の検討をしなければならぬ。部分的に住民負担を強いることに急がず国の偏りを指摘し正しながら、改革の時代を生きぬく自治体の創造に努めてほしい。

反対項目は前年同様に加え、国民を保護するとは名ばかりの国民保護法関係の事業費。就学援助制度も見直しを過渡的なものと経過を見てきたが、基準廃止が望ましい。

なお扇台土地区画整理事業は昨年の一般質問では10億円の削減であったが、その後20億円の事業費減が可能となった。地権者の意向に留意し努力を。

賛成討論（人間自民クラブ）

国が三位一体の改革を進める中で、税源委譲を伴う増収分を当面基準財政収入額に100%算入するなど交付税総額は確保されたとはいえ、都市部の自治体にとっては市税の大幅な増収が見込めない中で深刻な財政難に陥る。

この状況の中で平成17年度一般会計予算は、前年度の減税補てん償借換債を除き、前年度対比4.9%の減額予算である。歳入の市税では企業実績の改善を見込み約4億6千万円の増収、三位一体改革による大幅な減収見込みの中、財政調整基金からの繰入金等により元気で活力ある人間のまちづくりのため、また、市民ニーズに心え得る積極的な予算措置であると評価する。歳出では公債費が大幅な減額になる。これは減税補てん償借換債の元金償還分を理解する。

投資的経費の財源確保は今後も厳しい状況が予測される。施設整備・道路整備等は充分検討され、限られた財源の有効活用を図り、効率的な予算執行を願い賛成討論とする。

賛成討論（みらい21）

国家財政が危機に瀕する中、三位一体の改革の影響が人間市にも及んでいる。市税収入の若干の伸びは見込めるが地方交付税・補助金は厳しい状況にあり、財政調整基金の繰入もできず予算総額では333億8千万円で財源不足は17億円となる。歳出は土木費の14億円減少をはじめ総務費、教育費が減少し、民生費は前年度対比8.3%増の100億円となる。また減税補てん償の借換を除く義務的経費は調整手当てを9%から8%にしたが僅かな減少に止まり、歳出カットの主なものは投資的経費となっている。

予算全体を見ると歳入が大きく減少する中で、実施事業を絞り込んで重点配分している努力は認める。しかし歳入が減少する中で民生費の増加は今後も続くことから、市民サービスの低下を最小限に抑えるためにも、人件費を始め経常経費を大胆に削減し、事業の財源を生み出し、民間活力の導入や事業の選別など更なる努力を期待し賛成の討論とする。

賛成討論（公明党 人間市議会）



平成7、8年度発行の減税補てん償借換債を除外した実質予算は、対前年比4.9%減額となり、最悪の財政状況下で、元気な人間のまちづくりを実現するため、継続的な施策の「健康・福祉の増進」「環境への配慮」「教育・文化の振興」を基本に事業を推進。主な事業として、土地区画整理事業の推進、狭山茶の振興・環境保全型農業の推進、二本木公民館の建替事業の推進、青少年活動センターの事業充実、健康づくりや地域福祉のネットワーク構築、地域福祉計画の策定、子育て支援策の充実、防犯対策の充実及び民間交番の設置推進、ごみ減量化・資源化の推進、加治丘陵の自然体験区域の都市計画決定・さつやま計画推進等を図り、委託料、旅費及び人件費を削減。減額予算を強いられながらも市民福祉の向上を基本理念とし、財源の有効配分に留意され評価する。無駄を廃し、市民が安全で安心して住めるまちづくりを願い、賛成討論とする。

人間CATVで
本会議を
全面放映
しています



放映チャンネル
11チャンネル
放映時間
議会開催日の午後6時から



特別会計

▼ 討 論 ▲

反対討論

(日本共産党
入間市会議員団)

(国民健康保険特別会計)

反対の理由は保険税滞納者に対して保険証を交付せず資格証明書を発行し現在も479件に発行していること。政府が国庫負担を削減する中で市町村の国保財政は悪化し、この時期から全国的に国保税・料の値上げが続いている。値上げは滞納を増やし財政悪化に拍車をかけ悪循環を招く。国庫負担を元に戻すことは急務。

資格証明書は国保加入を証明するだけで保険証ではない。資格証で病気になるって医療機関にかかっても全額支払わなければならない、受診抑制につながっている。保険証の取り上げ、資格証明書の発行はやめるべき。(狭山台土地区画整理事業特別会計)

工業団地づくりを目的としたこの事業は計画を見直すたびに保留地処分金が減り、市費投入額が増加した。今後多額な市費の投入が計画されている。市民のくらしや福祉教育予算が次々に削減される中では、事業の見直しを行い、予算を減らすべき。

賛成討論 (保守系クラブ)

(国民健康保険特別会計)

国保は基本的には保険制度であり、加入者の保険税と国庫補助金により運営されている。公平な保険税の徴収が求められる一方、市民の理解と協力が不可欠である。予算に反対する議員が、保険税滞納者に資格証明書を発行していることに反対を主張しているが、滞納していれば全ての人から保険証を取り上げ、資格証明書を発行しているのではなく、滞納

議会の運営

議会は、定例又は臨時に、一定期間開かれます。定例会は、毎年4回、3月・6月・9月・12月に開きますが、このほか必要があるときは臨時会が開かれます。会期中には、本会議や委員会が開かれます。本会議は、全議員が出席して、議会の最終意思を決定する会議です。委員会は、本会議で決定する前に、いくつかの部門にわかれて専門的に審査する会議です。

反対討論 (そらまめ)

(国民健康保険特別会計)

反対の理由は資格証明書の交付である。厚生労働省は、自営業や年金生活者が多く加入している市町村の国民健康保険を都道府県単位に再編する検討に入り、政府の経済財政諮問会議は、社会保障費の総額抑制を提案している。

しかし、国保を再編しても効果のほどはどうか今から危ぶむ声が出ている状態だ。再編によりその規模が大きくなっても、失業・倒産・リストラなどによる自殺者が多いこの社会の実態、お金持ちを優遇する国の政治を変えない限り根本的な解決はないからである。

議会のしごと(権限)

- 議会には、次のような権限《やくわり・仕事をすることができる範囲》があります。
- 議決権 条例の制定や改廃、予算などを決めます。
 - 同意権 主要人事(例:助役、教育委員等)の選任に対して同意するかどうか決めます。
 - 調査権 議決により、市の事務に関する調査を行い、記録の提出を請求したりすることができます。
 - 選挙権 議長、副議長、選挙管理委員等を選挙します。
 - その他 決定権、検査及び監査請求権、説明請求及び意見陳述権、意見表明権、自立権、承認権、報告・書類受理権、請願受理権などがあります。

資格証明書の発行とその徴収状況はさまざまケースであるが、それらはなぜ保険証の取り上げという手段でしかできないのか疑問。未納の状況は人それぞれに違うが住民の誰もが厳しくとも不安を取り除き、幸福に暮らせる社会をめざすことが地方政治の究極の目的であるところから、今回もこの点を指摘しておく。

平成17年度入間市特別会計予算一覧表

会 計 名	予 算 額	前年度比較 増減率(%)
国民健康保険特別会計	106億3,741万7千円	13.5
老人保健特別会計	75億7,422万4千円	1.1
介護保険特別会計	49億2,594万6千円	43.2
下水道事業特別会計	28億2,126万5千円	12.2
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	8億7,613万1千円	29.4
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	3億200万円	16.6
扇台土地区画整理事業特別会計	5億1,620万円	31.3
狭山台土地区画整理事業特別会計	4億100万円	4.1
合 計	280億5,418万3千円	9.8

賛成討論（入間自民クラブ）

（狭山台土地区画整理事業特別会計）
 新年度予算では、街路築造工事や雨水管布設工事を重点的に事業費に計上し、特に狭山台の幹線のひとつである狭山ヶ原中央通り線の整備が本

格的に始まることは大変好ましいことである。これからも早期に道路等の整備を優先し、土地利用や事業活動に支障のないよう積極的に事業を推進すべきである。
 狭山台土地区画整理事業は、多くの企業が進出することにより地域の雇用創出、また住宅・工場等の建設や企業の事業活動により地域経済へ好ましい経済効果をもたらす、そして厳しい市の財政状況の中で固定資産税・法人市民税等の増収による新たな自主財源の確保につながる事業といえる。
 今後も保留地の売却等による事業収入の確保と事業費の削減に一層努力され、この事業が早期に完成されるよう要望し、賛成の討論とする。

賛成討論（公明党 入間市議団）

（国民健康保険特別会計）

国民健康保険制度を維持していく上で、その財源となる保険料の収納確保は、「被保険者間の負担の公平を図り、収納率の向上に大きく寄与する」という観点からも、極めて重要であると認識している。
 景気の低迷等による保険料収入の確保が厳しい中、また、医療費の伸びが年々増加する状況において、資格証明書の交付について積極的に取り組みをしており、収納率の向上を図っている状況は理解できるものである。

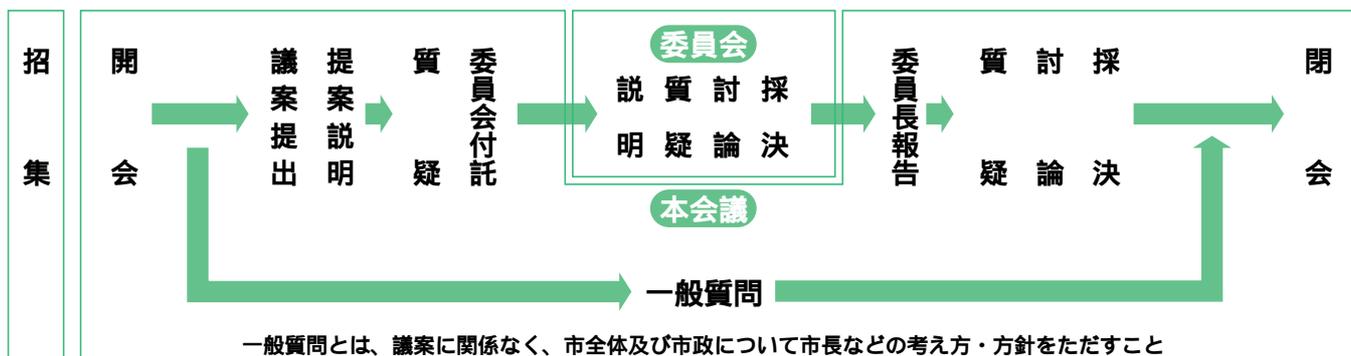
資格証明書が交付されている世帯については、12月末現在479件で、現在も納税相談等により日々交付世帯は減少している状況である。
 以上のようなことから、平成17年度予算においても厳しい財政状況ではあるが、積極的な収納努力を図り、医療費の動向等慎重に見極めながら健全運営に努めていただくよう望み、賛成討論とする。

今後保留地の売却等による事業収入の確保と事業費の削減に一層努力され、この事業が早期に完成されるよう要望し、賛成の討論とする。

資格証明書が交付されている世帯については、12月末現在479件で、現在も納税相談等により日々交付世帯は減少している状況である。
 以上のようなことから、平成17年度予算においても厳しい財政状況ではあるが、積極的な収納努力を図り、医療費の動向等慎重に見極めながら健全運営に努めていただくよう望み、賛成討論とする。



会議の順序



一般質問とは、議案に関係なく、市全体及び市政について市長などの考え方・方針をたずねること

条例

新規条例

議案第21号	入間市ペット霊園の設置等に関する条例	全員一致で原案可決
--------	--------------------	-----------

議案第21号

ペット霊園の設置及び管理が適正に行われるための措置を講じることにより、公衆衛生上住民に与える不安を除去するとともに、住民の生活環境の保全に資することを目的にしている。これにより、ペット霊園の設置をしようとする者は、周辺的生活環境に及ぼす影響に十分配慮し、良好な近隣関係を損なわないよう努める責務が生じる。

全部・一部改正条例

議員提出議案第1号	地方自治法第180条の規定により市長が専決処分することができる事項の一部改正	全員一致で原案可決
議員提出議案第2号	入間市議会委員会条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議員提出議案第3号	入間市議会会議規則の一部を改正する規則	全員一致で原案可決
議案第11号	市長等の給料の額の特例に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第12号	入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第13号	入間市一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第14号	地方公務員法及び地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	全員一致で原案可決
議案第15号	入間市手数料条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第16号	入間市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第17号	入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第18号	入間市乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第19号	入間市ねたきり高齢者等介護手当支給条例	賛成多数で原案可決
議案第20号	入間市納骨堂設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第22号	入間市樹林等の保護及び緑化の推進に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第53号	入間市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決

議案第18号

乳幼児の通院に係る医療費の支給について対象年齢を小学校就学前までに拡大し、保護者が窓口で支払っていた医療費について、今後は保険医療機関等が保護者に代わり申請を行うこととなる。

議案第19号

現在「入間市ねたきり老人手当等支給条例」により「ねたきり老人手当」(月額5千円)と「ねたきり老人介護手当」(月額5千円)の2手当を支給しているが、「ねたきり老人手当」を廃止して「ねたきり老人介護手当」のみを支給する制度とし、手当名も「ねたきり高齢者等介護手当」とするもの。

人事案件

助 役

吉田一雄氏 入間市上小谷田三丁目5番12号
全員一致で同意

教育委員会委員

青山友子氏 入間市大字新光300番地24
全員一致で同意

決議

議案第19号
人間市ねたきり高齢者
等介護手当支給条例に
対する附帯決議

在宅介護の充
実をはかり、ね
たきり高齢者等
を介護する世帯
を支援するため、
次の事項につい
ては、特段の配
慮をすべきであ
る。

記
住民税非課税世帯及びそれに準
ずるような低所得者の世帯に配慮
し、平成17年4月から加算支給な
どができるよう、早期に改善する
こと。
以上決議する。
平成17年2月22日
埼玉県入間市議会

議会を 傍聴しましょう

議会は住民の、
住民による、
住民のためのものです。
次回の定例会は
6月に開かれる予定です。



本定例会において議員提出による決議
1件が提出され、全員一致で可決しま
した。



Question 1

一般質問

Answer

2月定例会の一般質問は、質問者
9名により2月14・15日の
2日間行われました。
質問・答弁内容は、質問者本人が
要約したものです。

個人別数字・バーコードの問題点

野口哲次議員

質問

今回、入間市が実施した合
併に関する市民の意思確認のための
アンケート調査については、いくつ
かの混乱が生じた。そのうち、個人
別数字とバーコードについてはチラ
シのお詫びだけで終わりにしてはい
けないと考えている。

個人別数字・バーコードは、コピ
ーや再交付による2重回答防止のた
めとあるが、他人の調査票がぎ使
用は起こると考えなかったのか。

市長 仮定の質問にはお答えでき
ない。

質問

個人別数字・バーコードが
賛否の表明への圧力となり得ると考
えなかったのか。

市長 個人を特定する意図は全く
なかった。ただ、説明不足で市民に
不安を与えたことはお詫びする。

質問

説明を聞いた後でも、300枚
以上の調査票はがきのバーコードが
切り取られていたなど、少なくない
市民が不安に思っている。個人別数
字・バーコードの使用は間違ってい
たとは考えないのか。

市長 6万5千人以上の方から回
答をいただき、アンケートは成功だ
と思っっている。

質問

たとえ、一人であっても結
果として抑圧すれば健全な民主主義
は育たない。アンケートにおいて個
人の賛否がわかりうる数字・バーコ
ードは2度と使用しないといえるの
か。

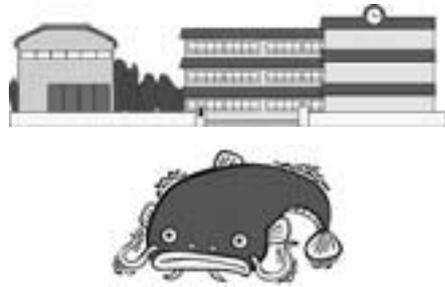
市長 市民に不安を与えたことは
今後の参考にする。

乳幼児医療費の窓口払い撤廃を

対馬 ヨシ江議員

質問 乳幼児医療費の就学前までの拡大と窓口払い撤廃は市民要望である。平成18年1月から通院も就学前まで拡大になる。窓口払い廃止に向け「申請方法の改善を」と提案してきた。この結果、当初償還払いから申請書を医療機関に置くようになり、さらに昨年5月から「申請代行方式」に移行させた。窓口払い撤廃まであと一歩だ。市は窓口払いをなくすためには、付加給付の「二重払い」問題があるとしてきたが、問題は解決されたか。また、実施している自治体の現状は。

市長 市民の強い要望であるという理解し、申請代行制度に踏み切った。財政論からすると実施するのは厳しいが、いろいろな方策を検討する中で窓口払い撤廃を考える。埼玉県で12市中11市から回答があった。付加給付は市が負担している。



質問 窓口払い撤廃には医療機関の協力が必要。医療機関の意向は。

市長 反対は少ない。実施に踏み切るのは市側の決意だ。

質問 災害時の避難所となる小・中学校での耐震診断が遅れていることから、耐震化を急ぐように提案してきた。この結果平成16年度には予算化され調査が実施された。その結果は。

教育長 3月末完了めざしている。

質問 耐震診断の調査結果にもとづく今後の対応は。

教育長 第2次診断で実施した学校については必要に応じ実施計画、年次計画に組み入れ補強対策をする。

合併の市長責任、ごみ有料化反対

金子 健一議員

質問 合併アンケートにバーコードが印刷されていたことで不信を招いた。切り取って出した人は無効に。「し点」のチェックも無効。市の不手際による無効を救済できないのか。

市長 調査のしかた、疑問票の扱いには多々反省すべき点がある。

質問 「合併は正しい選択だったが、市民が理解しなかった」というのは市長の思い上がりではないか。

市長 「狭山市」という名前や市役所の位置に反対が多かった。

質問 「合併に政治生命をかける」「人間市で反対が多ければ責任問題」と市長は言っていたが、市民は反対した。責任をとるべきでは。

市長 辞任を求める声は承知している。責任の取り方もいろいろある。

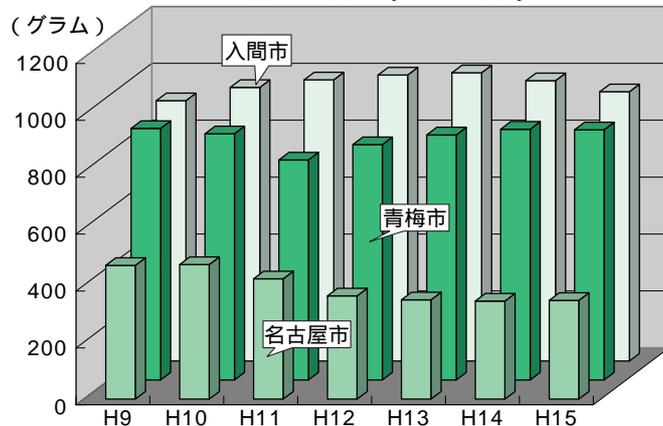
質問 市長は就任あいさつで「ごみ処理の有料化」を打ちだしたが。

市長 減量に努力している市民から「不公平」という批判があった。

質問 有料化で、ごみが減っている自治体はあるか。

市長 日野市は減っている。

ごみ量の比較（1人1日）



質問 日野市はまだ4年目。5、6年で元に戻る。青梅市も同じ。有料化で減り続けている自治体は。

市長 まだ調査していない。

質問 実際にはない。名古屋市は市民との対話を繰り返し減量に成功している。人間市も市民の協力で減っている。この方向が重要では。

市長 目的は減量だけでない。市の財政が厳しいので、負担できるところは、市民にも負担してほしい。



Question 4

市民の安心安全。地域文化

宮岡 幸江議員

質問 旧国民宿舎グリーンロジックは、長年人間のシンボルとして親しまれてきたが、老朽化や耐震性の問題等により、閉鎖され2年が経つ。改修するのも解体するのも多額な費用がかかり現在に至っている。自然災害や人為的災害等が不安である。管理体制と 今後の計画は。

市長 24時間の機械警備による防犯設備がなされている。耐震に不安があるので出来るだけ早急に撤去したい。

質問 文化創造アトリエ・アミーゴは、多くの方々の思いとご尽力で文化創造にむけてすばらしい取り組みがなされ、運営されている。しかし、地域の中にある施設は、地域が温かく見守り利用しての発展がある。施設のある地域の人たちが、施設を利用することでさらなる街づくり、人づくりにつながるのではないか。地域文化の伝承の場として、施設の一部を地域に開放する考えは。

市長 地域に根ざした文化活動は文化創造委員会の中で計画し、利用してほしい。

質問 クリーンセンターの搬入終了時間は午後4時であるが 延長は。 ウッド・チップ機の設置と貸出は。 高齢者世帯の剪定枝の扱いは。

環境経済部長 時間延長は難しい。 設置は、場所が無い。貸出は危険が伴うので難しい。 生ゴミも含めたゴミ回収について、戸別回収を、福祉部、社会福祉協議会と検討し、今後の課題としていきたい。



文化創造アトリエ・アミーゴ

Question 5

藤沢中央通り線の宮寺への延長を

齋藤 武久議員

質問 平成15年6月に藤沢中央通り線が区画整理地内から国道463号バイパスまで完成し、武蔵藤沢駅への交通の利便性が図られた。この道路は安全で住みやすく快適なまちづくりの柱となるもので、所沢市三ヶ島地区を通り宮寺地区まで延長することにより、藤沢・宮寺地区及び三ヶ島地区住民の通勤・通学者の利便性の向上と地区経済の活性化につながると考える。この道路の今後の予定と現在の状況はどうなっているか。

市長 所沢市とも話し合い、地元の方々の意見を聴く中で、1千550mは所沢市を通り1千50mは入間市を通る計2.6kmの道路で具体化することとなった。両市地権者の理解と協力が必要な事業であり、両市とも計画概要の地権者説明会を開催したところである。入間市は線形及び平成17年度に測量を進めることに対し了解を得、所沢市も出席地権者から異論はなく当日欠席者の意思を確認中のことである。今後の予定は地権者の了解のもとに、平成17年度、境界画定及び現況平面測量を実施したい



藤沢中央通り線（国道463号バイパスとの交差点付近）

と考える。平成18年度は、道路概略設計を実施し、雨水排水計画を県と調整したいと考える。併せて流末の不老川の現状と対応が必要と考える。こうした状況を踏まえ、地権者のご理解とご協力を得て、用地買収を進めていく考えである。なお、この事業は所沢市と入間市の同一歩調で行う道路築造工事であることをご理解いただきたい。

Question 6

鍵山浄水場改築・自然体験区域

宮岡 治郎議員

質問 入間市と狭山市の合併アンケート調査の、(1)回答数と回答率、(2)『自由意見欄』の記載内容、を行政の立場として、どう分析するか。

企画部長 (1)多くの市民から意思表示をいただき、回答率は他の選挙結果よりも高かった。(2)合併に関する意見に加え、今後の入間市の行政運営の糧となる貴重な意見もあった。総件数は、1万4千件を越える。



飯能市阿須の『ムーミンの公園』の、背後に広がる入間市の加治丘陵。

質問 入間市の唯一の自己水源である鍵山浄水場の改築で、(1)水道の水はどのように「おいしく」なるのか。(2)県営水道との兼合いはどうか。

水道事業管理者 (1)入間川の水に含まれるカビ臭さは除去される。薬臭さは、一定の薬品の注入の必要があり、改善は見込めない。(2)浄水力が上がり、県営水道の受水が95%から85%となり、安定給水が図られる。

質問 加治丘陵の『自然体験区域』の都市計画決定によって、(1)具体的にどのような利点があるのか。(2)飯能市の阿須の公園との連携はどうなるのか。(3)元加治駅から、入間川の上橋を渡って、上仏子から『自然体験区域』に入る動線の確保は。

環境経済部長 (1)土地収用法が適用され、税制面で用地取得が容易になる。さらに、国の補助金が用地取得や施設整備で受けられる。(2)「探検の森ゾーン」と阿須の利用エリアが形成出来、ハイキングコースの設定なども考えられる。(3)上仏子の『旧宮岡ブドウ園』脇からの山道があり、全体の計画の中に入っている。

Question 7

市長他四役の退職金の見直し

金沢 実千代議員

質問 大型店(グリーンガーデン武蔵藤沢)の出入口は、踏み切り手前に設置の予定である。危険が予測される為1千140名の署名を市長と県に提出した。敷地内に右折禁止の大看板を設置して頂きたい。また、左折をした車両が生活道路である住宅街を通過する恐れがあるので、大型店利用車両は国道の方に左折するよう看板を設置して頂きたい。

市長 この場所の危険はよく理解しているので業者の方によく指導し、意見を述べておく。

質問 誘導員の設置は業者の方では2、3ヶ月、その後は状況を見てとの説明であった。状況の判断は不明確であり、常に誘導員を設置すべきである。

市長 誘導員の設置については万全を期すよう指導する。



質問 地方自治体の財政が極めて厳しい状況である。市民より市長他四役の退職金の見直しを迫る声が多い。それぞれの退職金の金額は。

市長 一期4年で1千955万1千円、助役986万5千800円、収入役、教育長、水道事業管理者864万円である。

質問 本給を減額しない限り退職金の見直しをする事は出来ない。報酬審議会において諮問をするときに、市の財政状況の厳しさの説明をつけ意見を述べてもらいたい。

市長 報酬審議会において問題も多くあるが減額するよう述べていきたい。

Question 8

定時制に続き保健所まで再編に！

山下 修子議員

質問 埼玉県の教育行政については、今後どこへ辿り着くのか県民の関心があり教育と自治のネットワークが結成されるなど、上田知事との対決色が出てきている状態にある。そうしたなか教育改革の具体化で全日制普通科の通学区廃止から一年になるが市内中学生の実情はどうか。

教育長 県内8つの通学区が全県ひとつになり進学を希望する生徒にとっては、好ましい結果が出ている。

質問 働きながら学ぶ定時制高校は、不登校経験者や障害児の入学など多様化に伴いその充実が求められているが、豊岡高校の定時制は県の再編整備で今後どうなるのか不安だ。

教育長 今年度は8人が進学している。県教育委員会では昼夜開校のレットスクールを狭山高校に設置の予定。



質問 県内で20保健所・4支所体制を見直し13保健所・11分室にする方針が発表された。保健師の数も埼玉は全国平均を大きく下回っており、こどもの発育・発達に関する相談や心の相談・精神保健相談・エイズやひきこもり相談などの業務は重要。

市長 狭山保健所は現在の23人から4人体制の分室となる計画である。

質問 合併に関する意思確認アンケートを送付するに当たり(1)個人情報収集業務届出書はどつであつたか。今回の件は実施機関の方法に問題があり誤解と混乱を生じた。プロセスの検証が必要。(2)個人情報保護運営審議会との関連はどつであつたのか。

市長 (1)は出した。(2)は3月開催。

Question 9

交番・駐在所の統廃合白紙撤回!!

上原 正明議員

質問 中学校の部活動の実状は。最近5カ年間で25部が無くなり、2部が増えた。生徒数が858人減り、それにもなつて廃部が増えているのが現状。残念に思う。

質問 部活動は教育上重要か。

教育長 学校教育は智・徳・体・三拍子揃つた総合的学習が重要。特に体位に比べ体力が落ちてきている現状を考えると、部活動は重要な活動。

質問 今後の部活動の推進策は。

教育長 平成16年3月に策定された中学校部活動の推進策に関する基本方針にもつぎ対応策を講じる。

質問 各中学校に部活の総合コーディネーター役の職員を置く考えは。

教育長 合同部活、外部指導者の活用、関係者の教育、総合コーディネーター役職員の育成配置を検討する。

質問 黒須運動公園ソフトボール場の散水施設の設置はできないか。

生涯学習部長 A面、B面に40mmの水道管の設置に230万円必要。雨水利用施設を併設すると400万円必要。費用対効果を総合的に検討する。



二本木駐在所

質問 二本木駐在所、春日町交番の統廃合の県の方針があるのか。

市長 昨年12月に県議会で計画が表面化し、狭山警察署長から内々の話があつた。今年1月には地域創造センター所長より後利用の要望はとの話もあつたが、まず県方針の住民説明を求めた。

質問 住民の統廃合の白紙撤回要望をどう捉え、今後どう対応するか。

市長 住民の反応は当然と思う。県対応を見極め、住民を尊重し対応。

第1回臨時会

改選後の初議会

3月29日の任期満了に伴う市議会議員一般選挙は、3月13日に投票が行われ、新しく24人の議員が誕生しました。

また、改選後の初議会を4月13日に開催しました。

議会人事

議長に

堤 利夫氏

副議長に

齋藤武久氏

を選出

改選後の初議会において、正副議長選挙、議席の決定、常任委員等の選出を行い、さらに議会選出監査委員の選任議案に同意しました。



就任のあいさつ



議長 堤 利夫氏



副議長 齋藤武久氏

私たちは、先の一般選挙後に開催された初議会において、議長並びに副議長に就任いたしました。15万市民の負託に応えられるよう誠心誠意努力し、責務を果たしてまいります。地方分権が進む中、狭山市との合併が不調となり、今後は、単独市で市政運営を行うという厳しい環境となりましたが、市民福祉の後退がないよう傾注し、今後市民の立場に立つて開かれた議会運営を行ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

監査委員に

友山信夫氏

埼玉県都市競艇組合議会議員

友山 信夫

人間西部衛生組合議会議員

安道 佳子 堤 利夫

鹿倉 貞二 塩屋 和雄

金子 俊雄 上原 正明

瑞穂斎場組合議会議員

齋藤 國男 田中 智義

近藤 常雄

総務常任委員会

宮岡 幸江 金澤 秀信

山下 修子 金子 健一

山本 秀和 田中 智義

駒井 勲 金子 俊雄

都市経済常任委員会

宮岡 治郎 齋藤 國男

石田 芳夫 平山 五郎

堤 利夫 近藤 常雄

齋藤 武久 友山 信夫

福祉教育常任委員会

野口 哲次 永澤美恵子

安道 佳子 吉澤かつら

忽滑谷陽子 鹿倉 貞二

塩屋 和雄 上原 正明

議会運営委員会

田中 智義 鹿倉 貞二

安道 佳子 石田 芳夫

金澤 秀信 野口 哲次

塩屋 和雄 金子 俊雄

上原 正明

議会だより編集委員会

宮岡 治郎 山本 秀和

山下 修子 金子 健一

金澤 秀信 永澤美恵子

齋藤 國男 忽滑谷陽子

宮岡 幸江

市議会図書室運営委員会

塩屋 和雄 野口 哲次

山下 修子 吉澤かつら

永澤美恵子 駒井 勲

議会防災検討委員会

安道 佳子 金澤 秀信

齋藤 國男 田中 智義

金子 俊雄

農業委員会委員

金子 健一 金澤 秀信

山本 秀和 平山 五郎

は委員長 是副委員長

～ 凡 例 ～

抱  写真

会派名・() 氏 名 住所 電話番号

()の内数字は当選回数



そらまめ(5)
山下 修子

野田1489-15
☎2932-6944

改革の時代をいきぬく自主自立の自治体をめざし尽力します。



金子 健一
仏子1589-1
プランヴェール718
☎2933-0551

行政の監視という本来の役割が果たせる議会めざし、「市民こそ主人公」の立場を堅持して奮闘します。



安道 佳子
久保稲荷4-4-18
☎2962-8082

暮らしや福祉、教育、平和が大切にされる市政めざし、みなさんといっしょに努力します。



吉澤 かつら
豊岡4-4-3
グリーンコーポ1-203
☎2964-0208

くらしといのち、平和を守る新しい人間市を市民のみなさんといっしょにつくりまします。



石田 芳夫
上藤沢688-8
☎2964-4048

福祉を守り、市民生活を応援する自治体づくりに、みなさんといっしょに全力を尽くします。



金澤 秀信
東藤沢4-7-3
☎2965-8587

民間で鍛えたコスト意識・サービスマインドを市の行財政にぶつけて新しい風を起こしていきたい。



永澤 美恵子
二本木518-4
☎2934-4659

「ひとりの声を大切に」。誠実な行動で、元気な人間の街づくりに全力で取り組んでまいります。



山本 秀和
東町4-3-5
第二田中荘201号
☎2962-0360

あとに続くこともたちのために、健全な財政と効率のよい行政の実現めざして、全力で努力いたします。



野口 哲次
春日町2-14-7-311
☎2963-0309

より良いくらしという視点に立つて、税金の使い方を市民のみなさんといっしょに見直していきます。

～ 任 期 ～

平成17年3月30日
から
平成21年3月29日
(4年間)

～ 定 数 ～
24人

法定34人以内の範囲で
条例が定めています。



齋藤 國男
東藤沢4-9-23
☎2962-4079

愛する人間市、行財政改革に取り組み、市民が将来も安心して暮らせる人間市づくりに全力を尽くします。



忽滑谷 陽子
野田1229-1
☎2932-0843

市民の皆様と同じ目線で、共につくる市政を目指して、人間市民の元気な毎日のために努力します。



平山 五郎
南峯367-2
☎2936-0758

市民の安全と安心を守り、教育・福祉の充実を計り、地域の整備と人間市を元気な街にします。

員 介

これからの
の抱負!

～ 本会議 ～

《定例会》
毎年4回
(3・6・9・12月)
開催されます。

《臨時会》
必要があるとき
開催されます。

行動・改革を基本に、市政に対し
真正面から誠意と熱意を込めて、向
かい合います。



未来新政会(4)
鹿倉 貞二
豊岡2-9-8
☎2963-7524

市民の『多様な価値観』を尊重し
てまいりました。それに『柔軟に対
応できる』人間市政を目指します。



未来新政会(3)
宮岡 治郎
仏子357-1
☎2932-1166

安心・安全な生活環境を整え、人
間性豊かなコミュニケーションを重
視し、現場第一主義に徹します。



公明党入間市議団(6)
堤 利夫
花ノ木156
☎2936-1304

みんなで作ろう「元気な人間」。
豊かな心が育まれるまちづくりのた
めに行財政改革を進めます。



入間自民クラブ(4)
駒井 勲
豊岡3-3-17
☎2962-2218

まずは行財政改革!! 守るべきもの
は市民の暮らしと緑。そして次世代
育成と産業の活性化。がんばります。



未来新政会(3)
田中 智義
宮寺386-3
☎2934-6233

子育てしやすい街づくりは、高齢
社会をささえる街。精一杯の努力と
行動力で親と子の願いを市政に!!



未来新政会(2)
宮岡 幸江
仏子376-1
☎2932-3626

市民の声をそのまま市政へ反映
し、住みよい街づくりに努力ひとす
じにがんばります。



未来新政会(5)
齋藤 武久
下藤沢385
☎2962-2763

誰もが安心して暮らせる福祉の街
づくりを目指し、行政・議会の改革
に全力で取り組みます。



未来新政会(6)
塩屋 和雄
久保稲荷4-10-10
☎2962-1736

自分達の街は自分で創る時代。今
こそ皆様と協働で安全・安心な健康
長寿人間市づくりに努めます。



入間自民クラブ(4)
近藤 常雄
宮寺1899-5
☎2934-2311

～ 委員会 ～

総務常任委員会
都市経済常任委員会
福祉教育常任委員会
議会運営委員会
特別委員会

特別委員会は、必要
がある場合に設置さ
れる委員会です。

「健康は市民最大の財産」を理念
に、安全・安心のまちづくりに全力
投球し「未来への夢」を提言します。



入間自民クラブ(4)
上原 正明
東町2-2-24
☎2962-3791

環境・教育・福祉の充実に努力し、
安全・安心で暮らせる街造りに市民
の皆様と協働で築いていきます。



入間自民クラブ(4)
金子 俊雄
小谷田1421
☎2962-3620

人間尊重、福祉優先、人々が安心
して暮らせる快適で利便性溢れる元
気な人間のまちづくりに邁進します。



未来新政会(4)
友山 信夫
下藤沢635
☎2962-5475

議 紹

聞いて
みました!



市民と行政の心の 架け橋に



上藤 沢 川添磨理子（主婦）

人生で一番大切な事は何かと問われた時、選挙で町の方々に選ばれた教育長をしていた父の言葉が頭を過ぎります。「家族や自分の為に努力するのは当たり前、自分以外の人の為に何をしようとするか、その人の値が決まるのだ」と、そう語る父の姿を見て育ちました。その私が行政（ポスト配置）のありかたに、いささか疑問を感じています。市民からの要望が行政に持ち込まれた際に、市民の立場に立つて見極めがきちんと出来る職員を窓口、ぜひ立ち会わせて頂きたい。どうか烏合の交わりの中に己の身を置かず、誰もが納得のいく、心ある対応が出来る人物をと望みます。誰に対しても平等に耳を傾け、前向きで建設的な意見であれば、後押しをしてあげて頂きたい。“和を以て貴しと為す”の精神で願っています。



新久 安藤忠正（無職）

自然災害に思う

地球温暖化のせい、人間の争いに自然が警告を発しているのか、近年、世界各地で大きな地震、津波、台風、洪水等の自然災害で多くの人命が失われている。国内でも昨年は大型台風が何本も上陸し、風水害を被り、新潟では地震災害に加え、またまた豪雪に苦しんでいる。幸いといつかの埼玉県や入間市では自然災害がゼロに近く、対岸の火事的になりがちであるが、明日は我が身。行政にたよるばかりでなく、一人一人が生き残れるように日頃より災害に備え、正しい知識での周囲の整備、水・食料・生活用品の準備、近所との協力方法等真剣に考えたい。備えあれば憂いなし、いざという時に冷静な判断と行動がとれる。他人まかせでは決して、生き残れない。



6月定例会日程案

- 6月 1日（水）開会
- 6月 6日（月）総括質疑
- 6月 8日（水）委員会
- 6月10日（金）一般質問
- 6月13日（月）一般質問
- 6月14日（火）一般質問
- 6月20日（月）閉会

日程については、変更する場合がありますので、議会議務局へお問い合わせ下さい。

2964-1111 内線5112・5113



三二情報

二本木公民館の
建て替え工事決定

二本木公民館の建て替えがいよいよ実現しようとしています。現在の公民館は、昭和45年に設置され、二本木地区住民の文化等の拠点として親しまれ利用されてきましたが、老朽化が進んでいます。新たな公民館は、地主さんのご協力を頂き、現在の建物より北側、大妻女子大学の南側の敷地に建設することになりました。建物は、鉄筋コンクリート平屋建て、延べ床面積1,203㎡で現在の建物の3倍強の広さとなります。主な施設は、多目的ホール、展示ギャラリー、会議室、調理室、学習室、和室、スタジオ、子育て支援室、サークル活動室、談話コーナー、事務室等になっています。特にスタジオは合唱、カラオケ、太鼓、ロック等の和洋及びジャンルを問わず、音楽に関する利用が可能となります。公民館は、地区住民の活動を通じて交流を深める「場」として、誰もが気軽に利用できる施設として活用され、二本木地区の活性化につながることを期待されます。



議会だより編集委員会



- | | | | |
|-------|-------|-------|--|
| 田中 智義 | 金子 健一 | | |
| 山下 修子 | 神谷 達 | 金沢実千代 | |
| 宮岡 幸江 | 鹿倉 貞二 | 近藤 常雄 | |
| 友山 信夫 | 齋藤 武久 | | |

は委員長 は副委員長